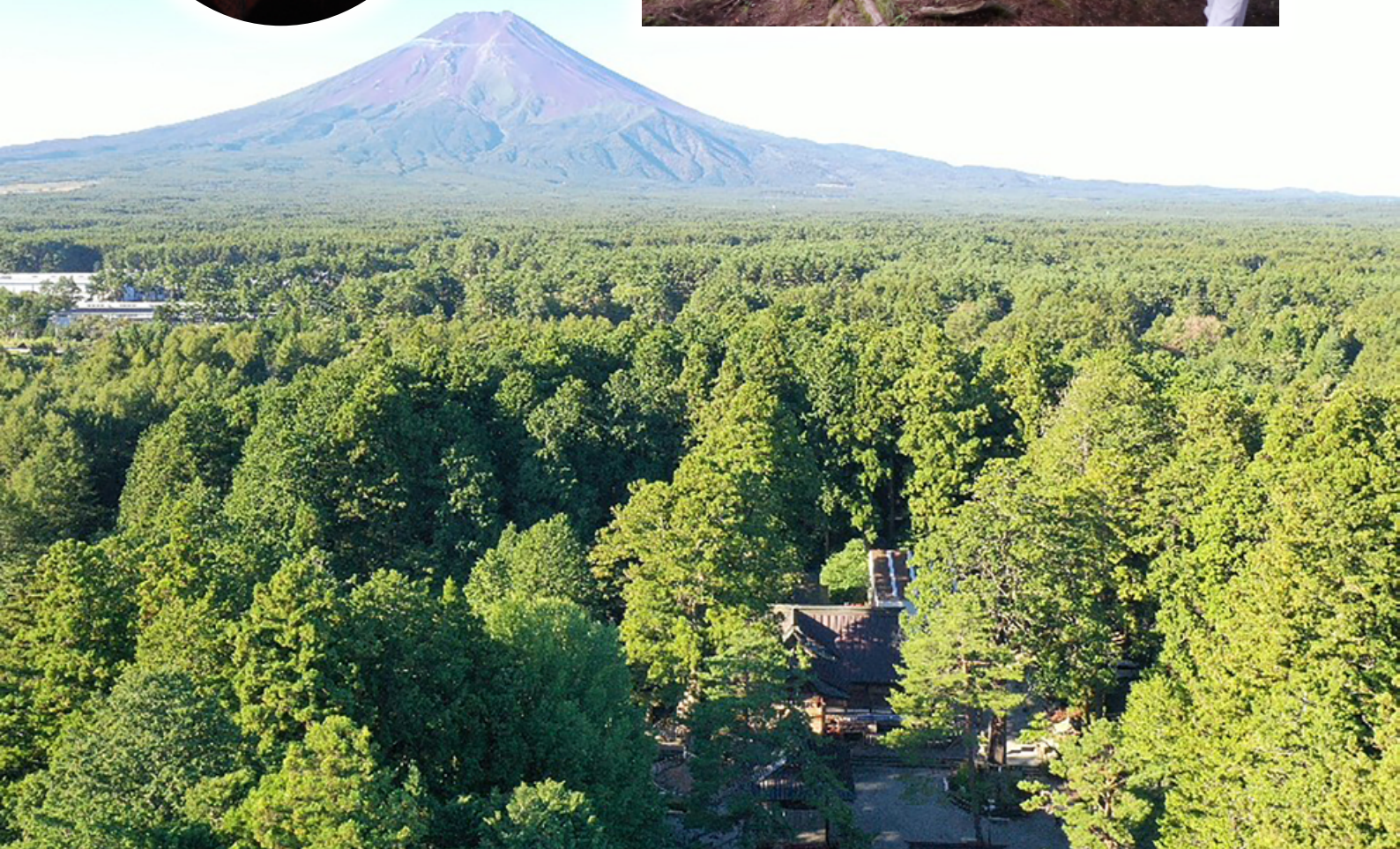


令和5年度
第二回企画展

諏訪森

～諏訪神祭祀と火祭～



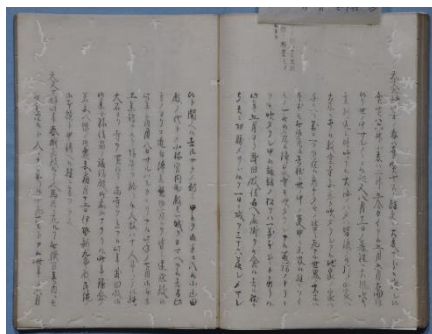
2023年12月25日(月) ～ 2024年2月26日(月)

山梨県立富士山世界遺産センター

北面からの富士登拝の拠点として知られる吉田町(富士吉田市上吉田)ー。2022年は、今に通じるこの町の原形ができあがってちょうど450年、そんな節目の年でした。これを機縁に、昨年度は、その成立事情について考えました。引き続き本年度も、この地に注目してみたいと思います。

<吉田町と諏訪森>

吉田口登山道の起点とされてきたのが、朱塗りの巨大な鳥居、通称「大鳥居」です。北口本宮富士浅間神社の社叢およびその南方に広く展開する林野は、早くから「諏訪森」と呼びならわされてきました。



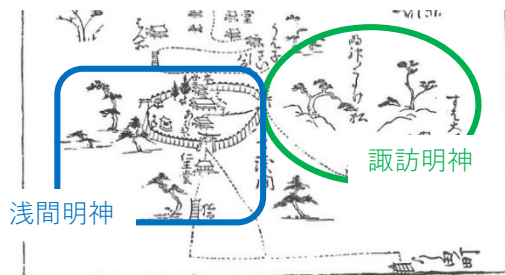
「勝山記」写本

個人



<諏訪森に鎮座する二社>

江戸時代には、同一の社叢に諏訪明神と富士浅間明神が並立、それぞれを司る佐藤上総と小佐野伊勢の両家が併存していました。「吉田の火祭」の前身である諏訪明神の例祭には、両神主家が奉仕していました。



「八葉九尊図」(部分)および同版木

正福寺(富士吉田市新倉)

<火祭の執行>

100本もの大松明が灯る宵祭が「吉田の火祭」の名で知られるようになりました。8月26・27の両日、二基の神輿ーオミョウジンサン(お明神さん)とオヤマサン(お山さん)ーが上吉田の地内を巡行します。この祭礼、本来は諏訪神社の祭でした。祭に見え隠れする諏訪信仰について考えます。



御山神輿由緒書

富士浅間神社(富士吉田市新倉)



オヤマサン(御山神輿)



富士山北口鎮火大祭図

個人

【主な展示品】

- ・「八葉九尊図」(版木)(正福寺)
- ・御山神輿由緒書(富士浅間神社〔新倉〕)
- ・「勝山記」写本

■開催場所■

富士山世界遺産センター 南館 富士山ステーション

■観覧料■

無料

■開催期間中の休館日■

1/23(火)

■開館時間■

9:00~16:30(入館16:00まで)

■住所■

〒401-0301山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1

■問合せ先■

TEL 0555-72-2314 FAX 0555-72-2337

WEB <https://www.fujisan-whc.jp>

